

会議・打合せ等記録

市長	副市長	教育長	教育次長	鹿場	沼長	栗場	野長	係長	担当

報告日：令和5年7月10日

名 称	令和5年度 第1回鹿沼市学校給食共同調理場運営協議会
日 時	令和5年7月10日（月） 午前10時00分～11時25分
場 所	学校給食共同調理場 2階 会議室
出 席 者	委 員：別紙出欠簿のとおり 市教委：中村教育長、郷教育次長 事務局：平田場長、秋本栗野場長、小野口係長、鈴木担当主査、宇賀神主任主事、佐藤栄養教諭、松島栄養教諭
内 容 及 び 結 果 等	1 開会
	調理室内見学
	2 挨拶
	委員・職員自己紹介
	3 議事
	(1) 協議事項
	副委員長の選出について
	事務局案により 副委員長：齋藤貴規委員に決定
	(2) 報告事項
	① 運営協議会について
	② 学校給食の概要について
	③ 食育への取り組みについて
	④ 学校給食費の滞納対策について
	⑤ 安全・安心への取り組みについて
	(3) その他
	① 運営協議会の開催予定 R5.11月頃 視察研修の予定。給食費の協議が必要な場合は会議となる。 R6.2月頃 第3回運営協議会の予定。
	② その他
4 閉会	
給食試食会	
○主な質疑等	
質問) 臨時交付金はいくらくらい物価高騰分に充てられるのか？	
回答) 物価高騰分として32,624,000円の予算を確保している。小中学校の給食費の8%を物価上昇分として計算した。	
質問) 物価上昇率は8%より高いと思うが、どのような工夫をしているのか？	

会議・打合せ等記録

市長	副市長	教育長	教育次長	鹿沼場	沼長	栗場	野長	係長	担当

	<p>回答) 8%はR3年5月の献立をR4年5月の単価で算出したもの。R5年5月の単価で計算すると14%上昇していた。限られた予算の中で、高い食材の分量を減らして安い食材を多く使用したり、国産ではなく海外の魚を使用したりしている。</p> <p>質問) 栄養摂取量について、これは計画量でなく実施量か? 残食は入っているのか? また、残食を減らす工夫は?</p> <p>回答) 栄養摂取量は昨年5月と11月の月報を元にした実績であり、残食を除いて計算している。残食については毎年11月に調査しており、残食が目立つ学校では、栄養教諭に状況確認をして原因追及をしている。学校には先生の声掛けや配食方法の工夫などで協力してもらっている。</p> <p>質問) 塩分量が国の基準を超えてしまっているがどのように考えるか?</p> <p>回答) パンに含まれる塩分量が高い。パンの日の揚物にはソースをかけないなど、小さな所から取り組んでいる。家庭での塩分摂取にも差があり、健康課・保育課と連携して乳幼児健診の頃から薄味でと指導している。</p> <p>質問) 昔は残してはいけなかったが、今は残してもいいという指導が主流なのか?</p> <p>回答) 苦手なものは一口だけでも食べてみようという声掛けをしたり、最初から減らして配食したりしている。無理強いすることはない。</p> <p>質問) 昔はピーマンや人参が残されていたように思うが今は何がが多いのか?</p> <p>回答) 豆料理が苦手な子が多い。ひじき煮やポークビーンズの大豆など。アンケートでは嫌いな食材でピーマンが上位に入っているが、みじん切りにしたりすると食べてくれる。</p> <p>○意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食べたことのないメニューについては残量が多いように感じる。幼児期の食習慣の影響が大きいので、就学前の食育等の機会が増えれば、給食にプラスの効果があるのでは。 ・初めて食べるものの時には残量が多いと感じる。メニューの改善も必要。 ・家庭の食生活が影響される。保護者としても気を付けないといけない。 ・これだけ丁寧に、金額面でも努力していただいているということは子ども達に伝えて、感謝の心を育てたい。
配布資料	<p>令和5年度第1回鹿沼市学校給食共同調理場運営協議会資料</p> <p>委嘱状</p>
次回予定	令和5年11月
記録者	宇賀神直美
<p>鹿沼市審議会等の会議の公開に関する要綱第2条に基づく審議会等の公開状況</p> <p>(該当する審議会等以外の会議・打合せ等については記入不要)</p>	
公開・非公開の別	<p>公開 ・ 非公開</p> <p>(公開の場合) 傍聴人数</p> <p>0人</p>